

11月の野菜の見通し

令和元年10月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	12,873	平年並 み	12,560	59	110%	79	17	0	千葉県・神奈川県産は、台風15号・19号どちらも被害はほぼなく、平年並みの出荷が見込まれる。荷動きは現状と変わらず鈍いと見られる。
はくさい	15,001	多い	13,796	51	108%	66	6	0	茨城県産の台風の被害はほぼなく、予想入荷量は平年並み。11月中下旬にかけて潤沢な出回りの見込み、相場も弱含みの展開が予想される。
キャベツ	15,335	多い	13,900	84	89%	101	-	-	千葉県・茨城県産は台風の影響はほぼなく、愛知県産も豊作基調が見込まれる。予想入荷量は平年並み～若干増。相場展開に大きな山谷はない予想。
ほうれんそ う	1,846	多い	1,488	363	138%	525	17	2.1%	群馬県・茨城県・埼玉県産中心の出回り。大きな台風被害はないものの、雨が多いことと低気温とで出方はさほど多くないとみられる。前年のような潤沢な数量ではなく、平年並み～若干減を見込む。10月下旬には相場が引き締まるが、11月中旬には高単価反動で下落に転ずる予想。
ねぎ	5,269	平年並 み	5,340	314	111%	296	291	5.5%	11月上中旬で北海道、東北産が切り上がりを迎える。関東産は台風による倒伏から回復を要することもあり、出方が遅れる見込み。中旬には端境での数量減も考えられるが、月を通しての全体量は平年と変わらない水準を予想する。
きゅうり	4,870	平年並 み	4,626	332	105%	391	25	0.5%	関東産が10月上旬に出過ぎたために、11月上旬にかけては出回り量が少ないと見られる。東北産の切り上がりもあって相場は高まるも、中旬には西南暖地産が増量して価格は落ち着く見込み。
トマト	5,024	少ない	5,344	465	86%	432	-	-	千葉県・茨城県産はハウスの破損等台風被害があり、数量は平年を下回る見込み。11月上旬には北海道・東北産が切り上がり、相場は上向くとみられる。熊本県産は夏期の長雨の影響から出方が遅れているが、11月中下旬には増量となり、相場は弱含みの展開が予想される。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)